令和2年度　国語科

学校番号	3018

教科	国語科	科目	国語総合（古典）	単位数	6単位中の4	年次	1年
使用教科書	「国語総合 改訂版 古典編」（大修館書店）						
副教材等	「トータルサポート新国語便覧」(大修館書店)　「新精選古典文法 改訂版」(東京書籍) 「精説漢文　改訂版」(いいずな書店)　「三訂版 正しく読み・解くための力をつける古典ステップ1」(数研出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

◇古典では、学力や入試に必要な実力を意識することだけにとどまらず、各自の今後の言語生活をより豊かにしていくことも視野において学習に取りくんでほしいと願っています。

◇まずは、古語文法と漢文句法(句形)について、理解しながら覚えていきましょう。そのうえで、古文・漢文を読むために必要な語彙や知識を身につけましょう。

◇古文も漢文も、文法や句法そして語彙などをただ単に「暗記」するのではなく、常に実際の文章を読むということの中にそれを位置づけ、読解・鑑賞のために活用できる「知識・教養」を身につけることをめざしましょう。

◇自身の学習の記録として、「ノート」を用い、その内容を充実させましょう。さまざまな「課題」にも主体的に取りくみ、実力をつけましょう。

2　学習の到達目標

◇文法や句法、語彙の知識を身につけ、それをさまざまなジャンルやスタイルの文章の読解のために活用できる。

◇古典で読む文章や作品などを、単なる読解のための題材にとどめず、自ら思索し、ものごとを見つめ考察するきっかけとしてとらえることができる。

◇文章を読むことをとおして、自身が考えたこと、感じたことなどを、口頭での意見表明や文章作成などによって他者に正確に伝えることができる。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a　関心・意欲・態度	b　話す・聞く能力	c　書く能力	d　読む能力	e　知識・理解
観点の趣旨	国語で伝えあう力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。			文章を的確に読み取り、部分ごとの意味内容や主旨あるいは登場人物の心理を把握できるようになる。古文・漢文の、比較的易しい文章の内容が読み取れるようになる。	伝統的な言語文化に対して興味と関心を持ち、時代や地域が違う人々の考え方や感じ方を想像することのできる柔軟性や感受性を育む。
主たる評価方法	・行動の観察 ・記述の点検 （ノート・課題等）			・行動の観察 ・記述の点検 （ノート・課題等） ・定期テスト	・行動の観察 ・記述の点検 （ノート・課題等） ・定期テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評価にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	古文入門	教材： 『宇治拾遺物語』 「ちごのそら寝」 文法等： 動詞の活用	○			◎	○	a、文章に書かれている人物の心情を読み深めようとしている。 d、文章の内容・あらすじ・登場人物の心情などを読み取っている。 e、古文を読むのに必要な文語のきまり、動詞の活用を理解している。	a：行動の観察 d、e：提出物及び定期考査
	漢文基礎	漢文基礎： 「漢文の構造と訓読の仕方」 「成句・格言を読む」 句法等： 訓点、訓読、書き下し文、置き字、再読文字	○				○	a、漢文を読むのに必要な返り点や書き下し文の知識を身につけようとしている。 e、漢文を読むのに必要な返り点や書き下し文の知識を身につけている。	a：行動の観察 e：提出物及び定期考査
	随想・物語を読む	教材： 『宇治拾遺物語』 「絵仏師良秀」 『徒然草』 「ある人、弓射ることを習ふに」 「高名の木登り」 文法等： 用言の活用	○			◎	○	a、文章に書かれている人物の心情を読み深めようとしている。 d、文章の内容・あらすじ・登場人物の心情などを読み取っている。 e、用言の活用について理解している。	a：行動の観察 d、e：提出物及び定期考査
	漢文入門Ⅰ	故事成語 『戦国策』 「漁父之利」	○			◎	○	a、故事成語の成り立ちについて興味関心を持っている。 d、文章の内容・あらすじ・登場人物の心情などを読み取っている。 e、漢文を読むのに必要な返り点や書き下し文の知識を身につけている。	a：行動の観察 d、e：提出物及び定期考査
	物語を読む	『伊勢物語』 「あづま下り」 文法等： 助動詞の一部、和歌の修辞法	○			◎	○	a、文章に書かれている人物の心情を読み深めようとしている。 d、文章の内容・あらすじ・登場人物の心情などを読み取っている。 e、和歌の修辞について理解している。	a：行動の観察 d、e：提出物及び定期考査
	漢文入門Ⅱ	故事成語 『戦国策』 「蛇足」 『列子』 「朝三暮四」 句法等： 疑問形、反語形	○			◎	○	a、故事成語の成り立ちについて興味関心を持っている。 d、文章の内容・あらすじ・登場人物の心情などを読み取っている。 e、疑問形、反語形について理解している。	a：行動の観察 d、e：提出物及び定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
後期	物語・日記を読む	教材: 『伊勢物語』 「筒井筒」 「芥川」 『土佐日記』 「門出」 「帰京」 文法等: 助動詞	○			◎	○	a、文章に書かれている人物の心情を読み深めようとしている。 d、文章の内容・あらすじ・登場人物の心情などを読み取っている。 e、助動詞について理解している。	a:行動の観察 d、e:提出物及び定期考査
	文章を読む	教材: 『十八史略』 「先従隗始」 「臥薪嘗胆」 句形: 比較形、抑揚形	○			◎	○	a、文章に書かれている人物の心情を読み深めようとしている。 d、文章の内容・あらすじ・登場人物の心情などを読み取っている。 e、比較形、抑揚形について理解している。	a:行動の観察 d、e:提出物及び定期考査
	随筆・軍記を読む	教材: 『枕草子』 「中納言参り給ひて」 「雪のいと高う降りたるを」 『平家物語』 「木曾の最期」 文法等: 敬語	○			◎	○	a、文章に書かれている人物の心情を読み深めようとしている。 d、文章の内容・あらすじ・登場人物の心情などを読み取っている。 e、敬語の意味や敬意の方向等について理解している。	a:行動の観察 d、e:提出物及び定期考査
	漢詩を読む	教材: 『唐宋八大家文章読本』 「雑説」 李白「静夜思」 王維「送元二使安西」 杜甫「春望」 白居易「香炉峰下、・・」	○			◎	○	a、漢詩で表現されている心情や情景についてイメージを持って味わおうとしている。 d、漢詩で表現されている心情や情景を読み取っている。 e、漢詩を読むのに必要な形式や規則の知識を身につけている。	a:行動の観察 d、e:提出物及び定期考査

※ 表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※ 年間指導計画(例)作成上の留意点
・評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域(「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」)に関わる観点には◎を付している。